

塩竈市伊保石地区災害公営住宅

塩竈市伊保石地区災害公営住宅基本設計等業務

UR都市機構 東日本賃貸住宅本部

■計画概要

所在地：宮城県塩竈市字伊保石228-1 用途：戸建住宅 階数：1階(2DK) 2階(3DK) 戸数：13戸(2DK)18戸(3DK) 構造：木造 敷地面積：約9,000m² 宅地面積：平均約195m² 用途地域：第一種低層住居専用地域、建ぺい率/容積率50/80 付帯施設：集会所、公園、広場、雨水貯留施設等 竣工：H26年2月



■業務概要・技術的特徴

平成23年3月に発生した東日本大震災の復興推進のため、塩竈市は震災復興計画に基づき震災復興住宅の建設計画を策定し、災害公営住宅の建設に取り組んだ。市は内陸部の伊保石地区にある市民農園跡地を用地として確保し早急に検討に着手した。

その中で、地域の課題の解決（幼稚園の駐車場やアプローチ、高台のアクセス等）町並みの継承等を重視した災害公営住宅の設計を行った。



■計画の特徴

街のイメージコンセプト

○まちづくりへの貢献

- ・アクセス道路、歩行者動線の整備。
- ・復興のシンボルとして歩道廻りに花畑を整備。
- ・集会所、広場等整備による周辺住環境の向上。

○コミュニティ形成への配慮

- ・既存地区集会所と幼稚園を結ぶ動線上に公園と集会所を整備し、地域コミュニティとの融合を醸成。

○環境配慮、防災性向上、高齢者等の安心住居

- ・自然エネルギーの活用。⇒太陽光発電パネルを集会所屋根に設置。
- ・住宅内部、集会所のバリアフリー。

○地域に根ざした住宅建設

- ・周辺に見られる緩勾配で構成された屋根形状を継承。
- ・多様なデザインの住棟を配置することで、変化に富んだ町並みを形成。
- ・敷地形状を活かした曲線状の道路による、適度な変化と奥行き感のある楽しい町並み。
- ・地場産材の杉材を住宅の玄関ポーチや集会所に採用。



ARK POINT